

学校再編整備に係る各種団体の長等および保護者等説明会 質疑応答一覧

金山地区各種団体の長等の説明会（令和5年7月17日開催）

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> 再編整備案の前期、後期はなぜこのように分かれているのか。西庄は両方に入っているが。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童数の減少、校舎の長寿命化改修など、多数の検討事項を考慮しながら、段階的に行っていく。 西庄は、地元の意見を伺いながら、前期・後期どちらかで再編を行う。
<ul style="list-style-type: none"> 坂出中と東部中の統合はいつになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 坂出中と東部中の統合について、前回も同様の案が示されており、H26、H29年頃に学校、PTAと協議した結果、両中学校とも生徒数が十分いたため現状維持した経緯がある。今回についても、統合時期は今後10年で検討していくこととなる。
<ul style="list-style-type: none"> 今後のスケジュールはどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新校の完成までは、地元の了解を得たのち、5～6年を想定している。可能であれば今年度中に地元の了解を得たい。
<ul style="list-style-type: none"> 地元の了解を得るとは具体的にどういうことか。 各地区の意見、保護者のアンケート結果等をフィードバックしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 地元住民全員の賛同を得るのは難しいが、連合自治会、地区社協、保護者などへの説明を通して金山、東部、西庄各地区の概ねの理解を得たい。 金山地区については、今回の自治会代表への説明後、できれば夏休み中には学校に通う子どもに関わる若い世代への説明を行い、秋頃には市の考えについて再度説明を行いたい。
<ul style="list-style-type: none"> 地域全体のデザインの中で、学校再編について考えるべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 教育委員会の学校再編の考えかたは、子どもたちへの適正な教育の場の提供が第1だが、地域のあり方を抜きにして考えているものではない。
<ul style="list-style-type: none"> 金山校区で坂出中学に進学している子（福江地区）はどうなるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫校とし、金山地区全体の小中学校区の両方を小中一貫校にまとめる案を検

質疑・意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協は学校区と密接している。地区社協についても学校再編と紐づけて検討すべき。 ・ 小学校再編による地域への影響が知りたい。 ・ 学校再編による地区の課題や、メリットデメリットをしっかりと出してほしい。 ・ 学校再編は地域と一体で考えてほしい。 ・ 現在の金山小学校から、もし、江尻地区が新しい小学校、福江地区が坂出小学校に分かれた場合、自治会も交流がなくなってしまう。 ・ 学校再編する前に若い世代が地域から離れていくのが心配だ。 ・ 子どもたちの教育の質は担保されるのか。 ・ 小中一貫教育になると、学校選択の幅が狭まるのでは（中高一貫の大手前など） （意見） ・ 坂出小学校統合時の問題を洗い出してほしい。 ・ 現実的な校区の問題を整理してほしい ・ 今後も会の実施をお願いしたい。 	<p>討しているので、みなさんの意見をお伺いしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校再編について、坂出市地区社協12地区の統合とは直結しておらず、あくまで学校のみ再編である。 ・ 坂出小学校は統合したが、現在でも中央と西部の地区社協等はそのままである。 ・ 学校再編と地区が切り離せない問題であることは理解している。金山地区との分断を避けるための案として、小中一貫新設校への校区の統合が考えられる。ただ、通学の便や家庭の事情等を考慮し、指定校変更を可能とすることも検討していく。 ・ 坂出小学校の統合後15年程の間に、坂出市の児童数が減少しているにもかかわらず坂出小の児童数は増加している。少人数で運営するよりも一定以上規模のほうが、ニーズがあるのではないか。 ・ 教育の質という面でいうと、小中ギャップの解消、小学校段階における専門教育の可能性など考慮し、小中一貫教育を取り入れていきたい。